

令和6年度 第3回湖南省文化財保護審議会 議事録

日時	令和7年3月18日(火) 17:30~20:00
場所	湖南省共同福祉施設(サンライフ甲西) 2階大ホール
出席者	【委員】8名 【事務局】東峰部長、野崎課長、堤課長補佐、滝主査、守武主任技師
議題	●報告事項:埋蔵文化財調査について ●協議事項(1)(2)
傍聴者数	0
担当部署 (事務局)	湖南省環境経済部 商工観光労政課 文化財振興係 TEL:0748-71-2331

●開会のあいさつ

●報告事項 埋蔵文化財調査について

(事務局)

菩提寺地先にて開発計画があり、周知の埋蔵文化財包蔵地「菩提寺城遺跡」内であったため12月18日に試掘調査を実施。遺構と遺物が確認されたことから2月3日から20日まで本発掘調査を実施した。土坑や柱穴、溝を検出し、須恵器や土師器、瓦器椀などが出土。明確な輪郭が残っていなかったが堅穴建物跡があった可能性も考えられる。遺物の様相から奈良時代、平安時代ごろの遺構と推定される。

(委員)

- ・菩提寺城は焼き討ちにあったと聞くと、焼土はなかったか? →確認されなかった。
- ・時期の違う2層の遺構がある? →同一の検出面。
- ・須恵器の坏は8世紀後半、瓦器椀や羽釜は12世紀ごろとみられる。奈良時代末と鎌倉時代、連続しない2時期の遺構が同一面上に存在するという理解で良いと思う。
- ・堅穴建物跡があったかもしれないとする根拠は。
→南側の一本は輪郭が確認できた。また日用品とみられる坏や釜といった遺物の存在、貯蔵穴とみられる遺構。

●協議事項(1)

【審議中の案件につき非公開】

●協議事項(2) 湖南省文化財保存活用地域計画について

(事務局)

1月30日に第1回協議会を開催。会長と副会長を選出し、計画策定の目的と背景、市の文化財について、計画スケジュール等について説明。未指定文化財のリスト化自体が今後の計画の方向性を決めるため、どのような方針をもってリスト化を進めるか考えていくべきとのご指摘をいただいた。指定文化財の所在確認も必要。

第2回は3月25日に開催予定。

(委員)

- ・未指定文化財の所在確認が必要。現存しないものがリストに入ってしまうという事例が他であった。
→地元聞き取りなどして確認していく。
- ・どこまでの時代を対象とするか。明治以降の文書関係、学校の沿革史などが廃棄されていく現状がある。地元の方が持っている可能性も高い。
- ・リストの内容に地域差が出ないか懸念がある。例えば三雲区ではサナボリ祭が載っているが、他地域の似たような行事は挙がっていない。地元の方がそれを文化財と認識されているかどうかによっても変わってくる。
- ・三雲区の検地帳、貴船神社の連歌会の額なども挙がっていない。特に寺や神社については、まだないか確認できると良い。

(事務局)

過去の調査や文献から抽出したリストであるため、もう残っていないものの精査、まだ何かないか地元等への確認はしていきたい。

(委員)

- ・指定文化財の現状把握も至急必要。
- ・東海道沿いということで、民家などもスポットを当てられれば。
- ・経典の類が入っていない。お寺等に確認していただければ。

(委員)

文化財の定義とは？

(事務局)

協議会委員には専門家ではない方もいらっしゃるの、未指定のものもれっきとした文化財であるなどの明確な定義づけを今一度確認、共有する。

(委員)

前述の学校関係資料や経典、仏具も含めた未指定文化財データベースの総ざらい調査を令和7年度中にしてしまう必要がある。コンサル等と協議の上漏れのないようお願いしたい。

～終了～